

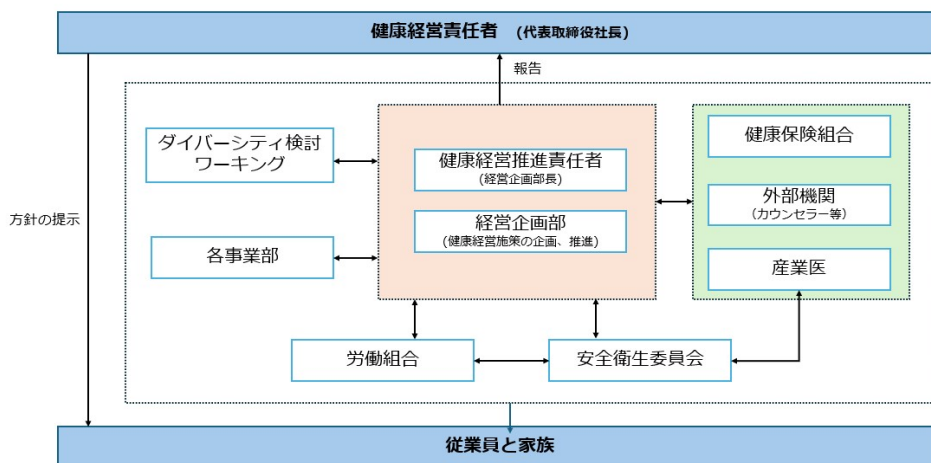
健康経営に向けた取り組み

健康経営推進の方針

社員とその家族の健康を重要な経営資源と位置づけ、健康の保持・増進に取り組むことで、組織の活性化と企業価値の向上を目指します。

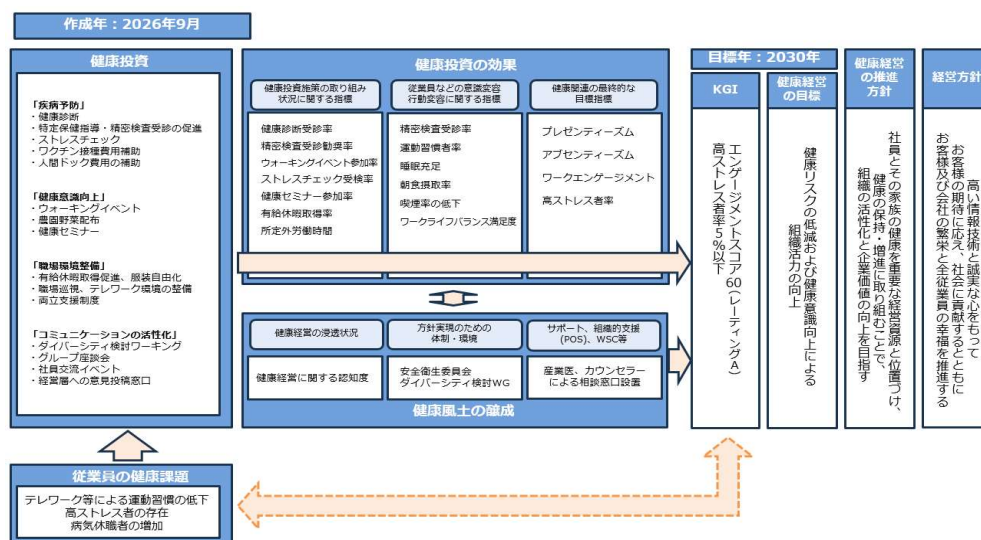
健康経営推進体制

当社は、代表取締役社長を健康経営責任者とし、経営企画部を推進事務局として健康経営を推進し、健康経営の方針・計画は経営会議で審議・決定しています。各事業部、労働組合、安全衛生委員会、産業医、健康保険組合および外部専門機関と連携しながら、健康課題の解決と職場環境の改善に取り組んでいます。



健康経営戦略マップ[®]

健康経営推進方針に基づき、その実現に向けた健康課題、施策および成果指標を体系的に整理した「健康経営戦略マップ」を策定し、継続的な改善に取り組んでいます。



健康経営評価指標

当社は、「健康リスクの低減および健康意識向上による組織活力の向上」を目標としています。

健康経営戦略マップに基づき、健康経営の成果を示す最終的な目標指標と、施策の実施状況や行動変容を把握する取り組み指標を設定し、継続的な改善に取り組んでいます。

■最終目標指標

健康経営の取り組みが従業員の健康や生産性、組織活力に与える影響を把握するための指標です。

各指標の推移を分析し、健康経営施策や職場環境改善に活用しています。

指標	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 実績	2030年度 目標
測定人数	438人	454人	460人 ^{※1}	
アブセンティーズム	0.82%	2.35%		1.0%以下
プレゼンティーズム	38.8%	38.2%		30.0%以下
ワークエンゲージメント	49.1	48.6		55.0以上
エンゲージメントスコア	-	-	54.9 (レーティングBB)	60.0 (レーティングA)
高ストレス者率	12.2%	8.0%		5.0%以下

測定人数：各年度の3月末時点（※1 6月末時点）

アブセンティーズム：病気休暇・休職による休業日数÷総所定労働日数

プレゼンティーズム：WHO-HPQによる損失割合

ワークエンゲージメント：ストレスチェックで測定した偏差値（アドバンテッジリスクマネジメント社）

エンゲージメントスコア：エンゲージメントサーベイ結果に基づくスコア（リンクアンドモチベーション社）

高ストレス者率：ストレスチェック結果に基づく高ストレス判定者の割合。

■取り組み指標

健康経営施策の実施状況や、従業員の健康行動・職場環境の変化を把握するための指標です。

各指標の推移を確認しながら施策の改善につなげています。

指標	2024年度	2025年度	2030年度
健康診断受診率	100%	100%	100%
精密検査受診勧奨率	100%	100%	100%
ストレスチェック受検率	100%	100%	100%
ウォーキングイベント参加率	-	15.9%	80%
健康セミナー・研修参加率	100%	79.5%	100%
有給休暇取得率	76.4%	76.2%	90%
所定外労働時間	17.7時間	17.2時間	15.0時間
運動習慣者率	18.9%	21.4%	50%
特定保健指導実施率	46.9%	※ 2026年度中に確定予定	70%
精密検査受診率	67.9%	52.9%	80%
睡眠充足率	68.0%	68.3%	80%
朝食摂取率	65.5%	67.2%	70%
喫煙者率	18.3%	16.7%	10%
適正体重維持者率	65.1%	61.7%	70%
平均勤続年数(正社員)	15.9年	16.1年	17年

健康セミナー・研修参加率：対象者に占める参加率

運動習慣者率：健康診断受診者の内、健康診断受診時の問診にて「1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している」と回答した従業員の割合

特定保健指導実施率：健康保険組合が集計した被保険者の実施率（参考）2023年度の実施率は61.4%

睡眠充足率：健康診断受診者の内、健康診断受診時の問診にて「睡眠で休養が取れている」と回答した従業員の割合

朝食摂取率：健康診断受診者の内、健康診断受診時の問診にて「朝食を抜くことが3回以上無い」と回答した従業員の割合

喫煙者率：健康診断受診者の内、健康診断受診時の問診にて「現在、たばこを習慣的に吸っている」と回答した従業員の割合

適正体重維持者率：健康診断受診者の内、BMIの値が18.5以上25未満の従業員の割合

健康維持・増進への取り組み

健康診断の実施と人間ドックの補助

疾病の予防および重症化の予防を目的として、健康診断受診率100%の維持に取り組んでいます。
35歳以上の従業員には人間ドックの受診を勧奨しており、健康保険組合と会社による費用補助を実施しています。

精密検査と特定保健指導の実施

健康診断の結果、精密検査が必要と判定された従業員全員に対し精密検査の受診勧奨を行い、早期発見・早期治療に繋げています。
また、健康保険組合と連携し、対象となる被保険者と被扶養者に特定保健指導を毎年実施しています。
健康診断結果に基づき、一人ひとりの状況に合わせた保健指導やアドバイスを行うことで、従業員とその家族の生活習慣の改善と健康づくりを継続的に支援しています。

健康意識向上に向けた取り組み

従業員の健康意識向上と運動習慣定着を目的として、ウォーキングイベントや健康セミナーを実施しています。
2025年度は全従業員を対象としたウォーキングイベントを開催し、15.9%の従業員が参加しました。
また、運動習慣者率にも改善が見られています。

メンタルヘルス対策

ストレスチェック結果の集団分析を実施し、各部門へフィードバックを行っています。また、若手社員向けセルフケア研修および管理職向けラインケア研修を実施し、メンタルヘルス不調の予防と早期対応に取り組んでいます。
あわせて、産業医やカウンセラーによる相談体制も整備しています。
高ストレス者率は2024年度12.2%から2025年度8.0%へ改善しました。

感染症予防

従業員の健康保持・増進および感染症予防を目的として、従業員およびその被扶養者を対象に、インフルエンザ予防接種費用の補助を実施しています。また、帯状疱疹や新型コロナウイルス感染症等の予防接種についても費用補助を行い、感染症の予防と重症化予防を支援しています。

プレコンセプションケア

将来の妊娠や出産・ライフステージに伴う身体や健康の変化に関する理解促進を目的としたプレコンセプションケアに取り組んでいます。当社では、にしたんARTクリニックと提携し、従業員およびその家族、パートナーを対象に、健康課題に関する無料相談窓口を設置しています。また、AMH（卵巣予備能）検査を自己負担なく受検できる環境を整備し、一人ひとりが将来のライフプランや健康について考える機会を提供しています。

働きやすい職場環境づくり

労働時間や休暇取得状況を定期的に確認し、長時間労働の防止や休暇取得の促進に取り組んでいます。
また、テレワーク環境整備、両立支援制度の充実などを通じて、多様な働き方を支援しています。
2025年度の月平均所定外労働時間は17.2時間と前年度から改善しました。

コミュニケーション活性化

ダイバーシティ検討ワーキング、座談会、社員交流イベントの参加費補助等により、コミュニケーションの活性化と健康風土の醸成に取り組んでいます。2026年度では、女性社員の交流イベントや、経営層への意見投稿窓口の新設等の施策も行う予定です。